



←水面に映っているのは雲です。風がなく穏やかな水面では小さなハジロカイツブリの姿がきれいに見えました。日が差さないといつものは見える生きものも見落としがちなのです。日が少し差すようになると蛇やバッタ、チョウなどが姿を見せるようになりました。昼に近づくと朝方の雲が嘘のように消え青空が広がりました。

紅葉する木が少ないなかで目についた木です。

上左:マメガキ



上中:ヤマハゼ



上右:イロハモミジ



ハギの残り花

多くは実がついていましたが偶然、きれいな花を咲かせていました



下右:ナンキンハゼ
下左:サルスベリ



セイタカアワダチソウやキダチコンギクなどにやってきました。アブの仲間はハエに近い昆虫で、寒さに比較的強いので冬に咲くびわなどの受粉に活躍します。



左上:オオホシヒラタアブ

左下:オオハナアブ

右上:キゴシハナアブ

右下:ナミハナアブ



(トラツリアブ)

このもふもふのアブに出会ったのは10月の観察会後でした。今日は出会えませんでした。4月頃にはこの仲間のビロードツリアブが見られます。幼虫はセグロイナゴに寄生して育つとされています。

カワウは子育て中



上：こどもに与える魚を捕って帰ってきます
左：左側が大きくなった幼鳥です



ムラサキシキブ実

2 mm ほどの小さな実が固まってついています。

6月頃紫色の花が固まって咲きます



オオスカシバ幼虫

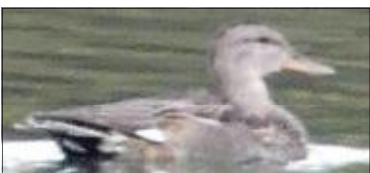
クチナシの葉を食べます。

羽化したときは翅に鱗粉がありますが、羽ばたきにより

失われ、翅は透明になります。



水に浮かぶ冬鳥



ハジロカイツブリ



カンムリカイツブリ

マガモ

オカヨシガモ

キンクロハジロ

ホシハジロ



冬芽

葉痕

オニグルミの冬芽と葉痕

冬芽を帽子のようにかぶった羊の顔に似ています。

植物 (花：ノコンギク多い、キダチコ

ンギク、アメリカイヌホオズキ、アキノノゲシ、ハルシャギク一株、キバナノマツパニンジン一株、シキザクラ、ヒイラギ)、(実：オオバコ、コセンダングサ、オオニシキソウ、ヒヨドリバナ、ヌマトラノオ、イノコズチ、ダンドボロギク、ノガリヤス、トダシバ、ヌカキビ、チヂミザサ、ススキ、マメアサガオ、オニドコロ、カラスウリ、ヤマノイモ実とむかご、ハギ花と実、イソノキ実なくなる、シャシヤンボ、クチナシ、ナンテン、イボタ、サワフタギ、ムラサキシキブ、ミヤマガ

マズミ、マメガキ、ウバメガシ、シラカシ、アラカシ、ヒサカキ、ミツバアケビ実割れる、ヘクソカズラ、冬芽(ツメイヨシノ、アラカシ、ヤマモモ、オニグルミ)、**昆虫** キタキチョウ、ツバメシジミ、ウラギンシジミ、クロコノマチョウ、ツマグロヒョウモン、ガ幼虫(オオスカシバ、メイガ類)、バッタ類(ツチイナゴ、ショウリョウバッタモドキ、コバネイナゴ、セスジツユムシ、ホシササキリ)、虫の声(ハラオカメコオロギ、ツツレサセコオロギ、クサヒバリ等)、アキアカネハクセキレイに襲われる、アミガサハゴロモ外来種産卵痕、クサギカメムシ、チャバネアオカメムシ幼虫、ワタアブラムシの一種、イセリアカイガラムシ、ムネアカアワフキ巢、クロウリハムシ、オオスズメバチ、ヒメハラナガツチバチ雄、ドロバチ類の育房、オオホシヒラタアブ、オオハナアブ、キゴシハナアブ、ナミハナアブ、ツマグロキンバエ、ユスリカの一種、ヤドリバエの一種、**蜘蛛** ジョロウグモと卵のう多数、シロカネイソウロウグモと卵のう、アシナガグモ、ネコハグモ巢、**鳥、その他** スズメ、ハシボソガラス、メジロ、シジュウカラ、ジョウビタキ、カワウと幼鳥、カルガモ、ハジロカイツブリ、カンムリカイ

ツブリ、ホシハジロ、キンクロハジロ、マガモ、オカヨシガモ、虫瘤(カラスウリクキフクレフシ、ヨモギクワタフシ)、セスジアカムカゲ、(菌)キンバエに寄生 **次回12月14日(木) 午前9時30分 水資源機構・P前 雨天中止 参加費100円**